

中央ヨーロッパ6カ国の旅—2012・10/15～24 (RSK OB高谷 昇)

(トルコのイスタンブール経由、ハンガリー、オーストリア、チェコ、スロバキア、ポーランド、ドイツ)

この度ヨーロッパ旅行しましたので、簡単に旅行記をアップします。

第1日目

22:30 関西空港発 トルコ航空でイスタンブールへ

飛行時間・約13時間 時差 (日本/トルコ -6時間) (日本/ハンガリー、オーストリア -7時間)

・・機中泊

第2日目

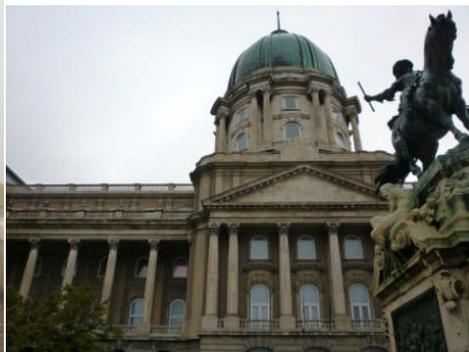
05:35 イスタンブール (トルコ) 着

08:50 乗り継ぎ→ブダペスト (ハンガリー) へ (飛行時間 約2時間)

世界遺産、ブダペスト市内観光・・・王宮 *漁夫の砦 *国会議事堂 *くさり橋 *マーチャーシュ教会
雑貨店でショッピングし、夕食後に「ドナウ川ナイトクルーズ」にでかけた。



(王宮の衛兵)



(王宮)



(ドナウ川とブダペスト市内)

*ハンガリー (Hungary)

面積・9万3000平方m 人口・約996万人

公用語・ハンガリー語 (マジダル語) 宗教・カトリック52%、カルビン派新教16%

時差・日本より8時間遅れ

ハンガリーの偉人 *イシュトヴァーン1世 (在位997～1038) 初代国王

建国しキリスト教を国教とした。

*マーチャーシュ王 (在位1458～1490) 第34代国王

ハンガリー最盛期の王、ボヘミアやオーストリアを攻め最大国土とした。

ルネッサンス様式の建物を多く建てルネッサンス文化を開花させた。

*リスト (1811～1886) 天才ピアニストウイーンで学びパリでデビュー

「ピアノ魔術師」の異名をもった。「ダンテ交響曲」「ファウスト交響曲」

名物料理 *グヤーシュ 牛肉とジャガイモなどの野菜をパプリカで煮込んだスープ
 *パプリカチキン パプリカソースで骨付き鶏肉を柔らかくなるまで煮込んだ料理
 *パラチンタ ハンガリー風のクレープ、入る具によってデザートにもメインディッシュにも
 *ハンガリーワイン 貴腐ワインの「トカイ・アスー」 赤ワインの「エゲル・ピカヴェール」
 ハンガリーの首都「ブダペスト」は「ドナウの真珠」と讃えられる美しい街。ドナウ川が町の中央を南北に流れる。西岸のブダは王宮を中心に歴史的建造物が多く、東岸のペストは近代的な美しい街並みがひろがっている。



(マーチャーシュ教会)



(ブダペスト市内)



(王冠)



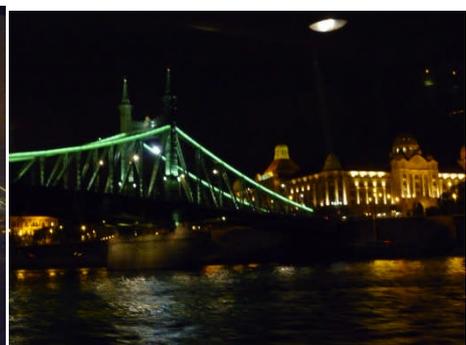
(漁夫の砦)



(ハンガリー人形)



(ハンガリー刺繍)



(「ドナウ川ナイトクルーズ」ードナウ川の夜景)

ドナウ川のナイトクルーズは全ての橋と両岸の建物がライトアップされてキンキラキンでした。
まるで竜宮城か豊臣秀吉の世界でした。



・・・ブダペスト泊

第3日目

09:00 専用バス→スロヴァキア的首都「ブラチスラヴァ」へ向かう

昼食後→ ブラチスラヴァ市内観光 *ブラチスラヴァ城 *旧市街

*スロヴァキア (Slovakia)

面積 4万9037平方m 人口約544.5万人 公用語スロヴァキア語

宗教はカトリック7割、ほかにプロテスタント、東方教会系など 時差 日本より8時間遅れ

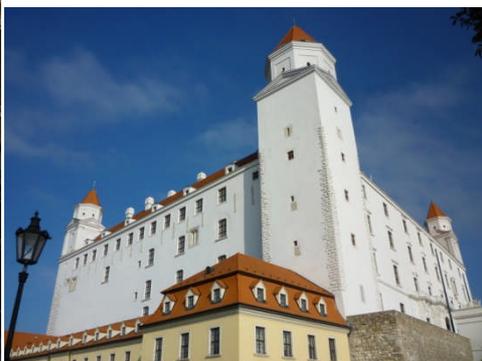
1993年にチェコから分離、独立し、ブラチスラヴァを首都とした。歴史を通じて長い間ハンガリーの支配下にあり、一時期はハンガリーの首都にブラチスラヴァになったこともある。

国土の東西を山脈が貫く山岳国。「ブラチスラヴァ城」はドナウ川と旧市街を見下ろす丘の上にある。ローマ時代は砦として、16世紀にはオスマン朝軍の攻撃に備えて堅固に造り替えた。18世紀にはマリア・テレジアの居城となった時期もあった。今は博物館になっている。

「聖マルティン教会」1452年に建てられた町で最大のゴシック様式の建物。ブラチスラヴァがハンガリーの都だった時代は、ハンガリー王の戴冠式がこの教会で行われ1563年～1830年にかけて11人の王が即位した。



(ミハエル門)



(ブラチスラヴァ城)

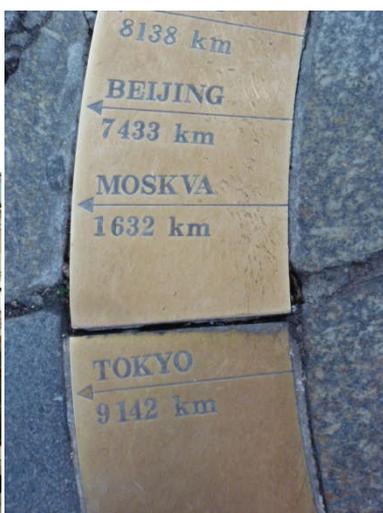


(スロヴァキアのレストラン)

寿司店の反対側にはスロヴァキアの日本大使館があり、東日本大震災の義援金の受け付けをしていました。9142 kmと遠く離れたこの地での人々の善意に感謝でした。また、日本大使館員は対面の「寿司店」の常連でもあるようです。



(スロヴァキアの寿司店)



(東京まで 9142 km)



(汽車のような観光バス)

観光後→ **ウィーン (オーストリア)** へ

17:30 ウィーンのホテル到着後→夕食、名物ポークシュニッツェル を食べる

・・・ウィーン泊

第4日目

07:30 専用バス→世界遺産ウィーン歴史地区観光へ

*世界遺産シェーンブルン宮殿 *ベルウヘエデーレ宮殿 *オペラ座 *雑貨店でショッピング

昼食は自由食なのでジャパニーズ・レストランで「親子丼」と生ビールを食べた。20ユーロ
日本円で2100円だった。商店街で買い物をした。

***オーストリア (Austria)**

1995年EU加盟、永世中立国、面積8万4000平方m

人口約840万人 公用語ドイツ 宗教 カトリック74%、プロテスタント5%

時差は日本より8時間遅れ、首都はウィーン

神聖ローマ帝国の皇帝として中欧ヨーロッパを統べたハプスブルク家のお膝元

数々の芸術家を輩出してきた芸術の都、ウィーンでは 絵画、音楽、建築、の傑作を見る事ができる。

「王宮」13世紀後半から20世紀初頭まで600年にわたりハプスブルク家が居城とした。

部屋数2500以上、フランツ・ヨーゼフ1世の皇帝の間の銀食器、皇妃エリザベート博物館は目を見張る。

(シエーンブルン宮殿)

(シエーンブルン宮殿の観光馬車)

(シエーンブルン宮殿の門)



「シエーンブルン宮殿」ハプスブルク家の夏の離宮として17世紀末に造営が始まり、マリア・テレジアの時代に歓声した。部屋数1441室、ボヘミアガラスのシャンデリアや金箔の漆喰などまばゆい。広大な庭園は東京ドームの36個分。

「ベルヴェデーレ宮殿」左右対称のデザインが優美なバロック建築。現在は美術館になっている。

ザルツブルクはモーツァルトの生家がある。「ミラベル宮殿」は1606年大司教によって建てられ現在は市長公邸として使われている。2回にある「大理石の間」ではモーツァルト一家が演奏していた部屋。映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台としても有名。庭園の美しい噴水や彫刻



(ベルヴェデーレ宮殿の門)

(宮殿の庭)

(ベルヴェデーレ宮殿)

(ウィーンのオペラ座)

専用バスで→クラクフ (ポーランド) へ.....

.....クラクフ泊

第5日目

08:30 専用バス→世界遺産クラクフ（ポーランド）歴史地区観光

*ヴァベル城・・・ヴィスワ川沿いの丘に建ち、11世紀～17世紀にかけて歴代ポーランド王の居城だった。

*聖マリア教会・・・町のシンボルで2本の尖塔、81mと69m高い塔からは毎正時にラッパの音が響く。低い塔は鐘楼として使われている。

*織物会館・・・中央市場広場にあり14世紀に建造され、布地や衣服の取引場。現存する世界最古のショッピングモールといわれている。

観光後→オシフィエンチム（ポーランド）へ専用バスで走る

昼食後、世界遺産アウシュヴィッツ強制収容所、ビルケナウ強制収容所、を見学・・・人類の負の遺産として世界遺産に登録されている。ナチス占領下のヨーロッパ中からユダヤ人をはじめ、共産主義者や反ナチス活動家などが次々送られ、強制労働や処刑された。28民族、150万人と言われ、終戦後に生きてこの収容所から出られた人は1割にも満たなかったと言われる。

(織物会館)

(中央市場広場の母子)



*ポーランド (Poland)

面積 32.3 万平方キロメートル、 人口 3820 万人 首都はワルシャワ

公用語はポーランド語、 宗教はローマ・カトリック 時差は日本より 8 時間遅れ

ポーランドの偉人・・・「フレデリック・ショパン」(1810～1849) 音楽を好む両親の間に生まれ若くして才能を発揮しモーツァルトの再来と称された。ワルシャワ音楽院を首席で卒業し、後にウイーン、パリと渡るが、パリ滞在中にポーランドがロシアに占領される。パリで作曲活動に従事するが結核に冒され 39 歳の若さでこの世を去った。

「マリー・キュリー (マリア・スクウォドフスカ)」(1867～1934) ラジウムの精製などで知られる物理・科学者、ワルシャワで生まれるがフランスに亡命し、苦学の末にソルボンヌ大学を卒業、科学者のピエール・キュリーと結婚し、夫婦で共同研究を進めた。1903年に夫とともにノーベル賞を受賞した。研究の影響で白血病となり、66歳で死去した。キュリー夫妻と娘夫婦ら一家で合計5つのノーベル賞を獲得している。

「コペルニクス」(1473～1543) 地動説を唱えた天文学者。クラクフ大学 (現ヤギェウォ大学) を卒業後イタリアのポローニャに留学して天文学に目覚め、天動説に違和感を覚えた。帰国して聖職者となり、教会との争いを避けるため自分の学説を発表しなかった。1543年死の直前に「天球回転論」を出版した。

(アウシュヴィッツの門)

(アウシュヴィッツの収容所)



(ヨーロッパ全土から150万人が収容所へ)

(過酷な強制労働と処刑)



専用バス→プルノ (チェコ) へ・・・

・・・プルノ泊

第6日目

08:30 専用バス→チェスキー・クルムロフ (チェコ) へ

オーストリアとの国境近くの町、ヴルタヴァ川沿いの旧市街は中世の雰囲気を残し世界遺産に登録されている。*世界遺産「チェスキー・クルムロフ城」は13世紀にヴェイトコフ家の居城として建てられ、その後何度も増改築が繰り返され現在の形になった。ゴシック、ルネッサンス、バロック建築が複合建築。ボヘミア地方ではブラハ城に次ぐ規模で5つの中庭がある。

*旧市街を見物し昼食は魚のマス料理大きなものだったが、おいしかった。

→専用バス→プラハ (チェコの首都) へ

*チェコ (Czech Republic)

面積 7万8866平方m 人口約1055万人 公用語チェコ語 首都はプラハ

宗教 カトリック10%、無信仰34% 時差日本より8時間遅れ

*チェコの偉人・・・「カレル4世」(在位1346~1378) ボヘミア王国の王カレル1世であり、1347年にカレル4世として神聖ローマ皇帝に選出された。中欧最初の大学、カレル大学を開設し、ブラハ城、カレル橋など建設し現在のプラハの基礎を作った。

「スメタナ」(1824~1884) 音楽を通じ、独立と民族復興を主張した国民学派の作曲家。40歳で聴力を失うが作曲を続けた。「モルダウ」など6つの交響詩からなる「わが祖国」が代表作。

*チェコの名物料理・・・「ヴェブショー・クネドロ・ゼロ」ローストポーク。クネドリーキ(円筒型の蒸しパンのような料理)とザワークラウトが付け合わせに添えられる。ビアホールの定番メニュー
「チェコ・ビール」世界のビール大国チェコは、国民1人当たりのビール消費量は世界でもダントツ1位である。「ビルスナーウルクェル」や「ブドヴァイザー・ブドヴァル」などが人気銘柄。



(チェスキー・クルムロフ(チェコ)の黄葉、落ち葉・・・目を見張る美しさだった)

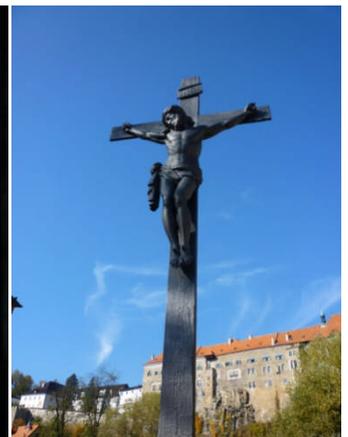
中央ヨーロッパ、ベルリン、ブラハ、ブダペスト、などは10月中旬~下旬は紅葉ならぬ黄葉と落ち葉で美しいです。落ち葉のジュータンを踏みながらの観光は一興でした。まあ、どこへ行っても王宮、城、教会、門、の遺跡ばかりで、どの国のどこの王宮、城、教会だったかわかりかねます。とても覚えられません。歴史と伝統のある王宮、宮殿、城、教会、門、橋、ばかりです。石造建築は東洋の木の文化と異なり我々日本人には目を見張るものばかりです。



(チェスキー・クルムロフ城)



(お城の門)

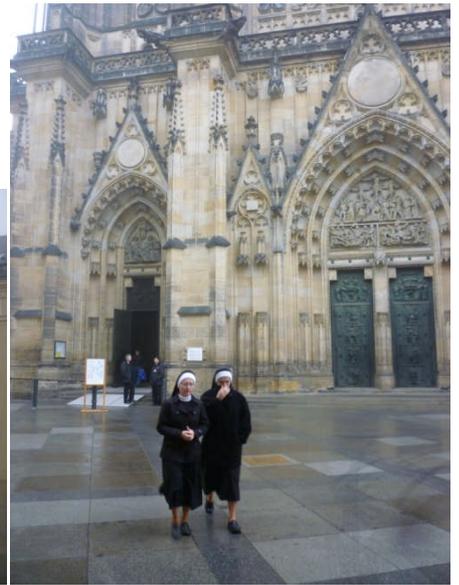


(キリスト像)
・・・プラハ2連泊

第7日目

08:30 専用バス→プラハ(チェコの首都) 歴史地区観光

* [プラハ城]・・・14世紀カレル4世の時代にほぼ現在の形となった。旧王宮や宮殿、修道院などがある。中でもシンボルは「聖ヴィート大聖堂」だ。高さ96.6mの尖塔をもち、内部のステンドグラスは美しい。正門では毎正時に衛兵交代式があり、正午の交代式が圧巻。

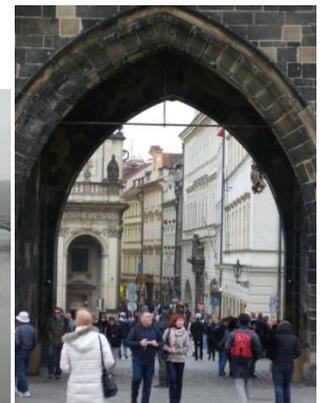
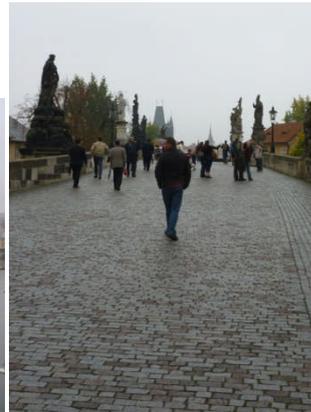


(プラハ城の衛兵)

(プラハ城)

(プラハ城内の修道院)

* 「カレル橋」・・・カレル4世の時代、15世紀初めに完成した。長さ520mの橋の両側に30体の聖像が並んでいる。いつも旅行者、大道芸人、似顔絵描き、で賑わっている。(下の写真 ↓)



* 「ボヘミアンガラス店」で見物と買い物



(プラハの観光馬車)

(旧市街広場)

(プラハの商店街)

昼食後→専用バス→「クトナー・ホラ」(チェコ東部)へ・・・銀の採掘で栄えた町。銀貨を鑄造する

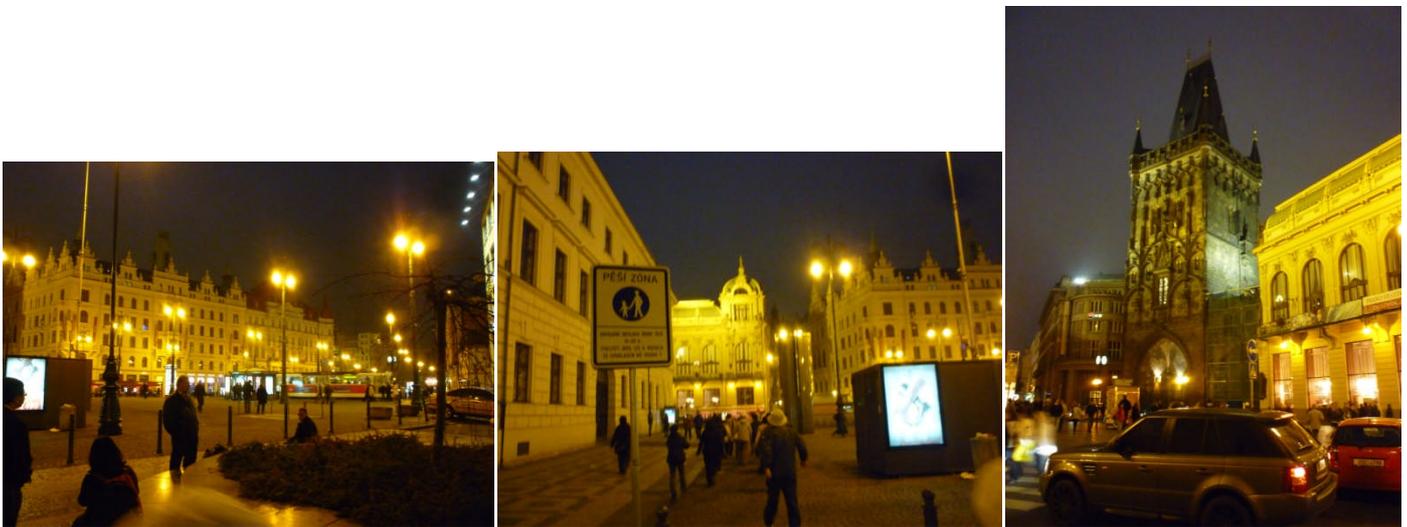
造幣局もあった。炭坑夫の守護聖人を祀った「聖バルバラ大聖堂」はチェコを代表する大聖堂である。チェコの首都「プラハ」はロマネスクからアールヌーヴォーまであらゆる建築様式を見る事ができる町として、ヨーロッパで最も中世の雰囲気を感じられる町である。世界中の観光客の人気を集めている。



(クトナーホラー (チェコ) の教会)

(修道院)

(流しのおじさん、夕食会)



(プラハ (チェコの首都) の夜景、市民会館や市庁舎)

・・・プラハ泊

第8日目

08:00 専用バス→ホテル出発→**ベルリン (ドイツ)** へ

14:00 ベルリン到着→昼食、中華料理、これは美味しかった。

*ベルリン市内観光**

「ベルガモン博物館」・・・古代ギリシャのベルガモンで発掘された「ゼフスの大祭壇」ほか巨大な遺跡群が展示されている

(ソニー ビル)

(ブランデンブルク門)

(東ドイツ建国20周年のテレビ塔)



「ブランデンブルク門」・・・1788年から3年の歳月をかけてプロイセン王国の凱旋門として建造された。門にはカドリガと呼ばれる4頭立ての馬車と平和の女神アイレーネの彫刻がある。

「ベルリンの壁跡」・・・ベルリンの壁が残るのはポツダム広場の南側にわずかと、その南東にある「テロのトボグラフィー」というナチス時代の野外展示の前に残るもの、シュプレー川沿いに1.3km残るものである。ベルリンの壁に描いてある落書き絵はおもしろいものがある。ロシアのブレジネフと東ドイツのホーネッカーがキスしている絵の前では記念写真を多くの観光客が撮っていた。

・・・ベルリン泊

第9日目

09:00 ベルリン市内観光

「ベルリンの壁博物館」・・・東ドイツから命懸けで西側へ逃れようとした人たちの記録を展示している。気球で逃げる、ボートで逃げる、車のシートの中に隠れて逃げる、トランクの中に入って逃げる、ありとあらゆる方法で東から西に人々は逃げた記録である。



(残されている ベルリンの壁)

*ドイツ (Germany)

面積36万7000平方m 人口約8175万人 公用語ドイツ語 首都はベルリン
 宗教3分の2がキリスト教でカトリックとプロテスタントが半分ずつ 時差 日本から8時間遅れ
 「ベルリン」は冷戦時代に壁によって東西に分けられた。1999年に再びドイツの首都に帰り咲いた。街は活気を取り戻し、ヨーロッパを代表する文化都市として発展を続けている。

「シャルロテンブルク宮殿」・・・プロイセン王家の夏の離宮として1699年に建てられたバロック様式の建物。その後増改築を重ねベルリン随一の美しさと大きさを誇る宮殿となった。

宮殿の向かい側には、ピカソとその時代博物館、エジプト博物館がある。

「ベルリン大聖堂」・・・ホーエンツォレルン王家の墓がある。ユリウス・カール・ラシュドルフが設計した、ネオ・バロック様式で、1894～1905年にかけて建てられた。

「テレビ塔」・・・東ドイツ建国20周年を記念し、1965年から4年の歳月かけて建てられた。塔の高さは365mで、モスクワのテレビ塔537mに次いでヨーロッパで2番目に高い塔である。203mの展望台までエレベーターで昇れる。



(ベルリンの教会)



(ベルリン市役所)

15:30頃 専用バス→ホテルを出発し→空港へ

19:00 空路、トルコ航空でイスタンブールへ (飛行時間約2時間45分)

22:45 イスタンブール着

・・・機中泊

第10日目

00:50 トルコ航空、乗り継ぎ 帰国の途に

17:55 関西国際空港に到着

飛行時間約11時間05分 時差 日本/ドイツ -7時間 日本/トルコ -6時間

19:30 リムジンバスで岡山へ

23:00 自宅にたどり着いた。

無事に日本に帰ってきました。ややきついスケジュールでした。ありがとうございました。